

分科会における検討状況と主な論点

1. 分科会の開催・検討状況

(1) 汎用スキャンツール標準仕様等分科会(事務局:社団法人日本自動車機械器具工業会)

- ・ 第1回分科会を9月に開催し、これまでに2回開催。
- ・ 汎用スキャンツールの活用に向けたアンケート調査や標準仕様のコンセプト等について検討を実施。

(2) 汎用スキャンツール普及促進分科会(事務局:社団法人日本自動車整備振興会連合会)

- ・ 第1回分科会を8月に開催し、これまでに3回開催。
- ・ 人材教育のあり方や整備事業者に対する認定制度の検討、大型車(ディーゼル商用車)のスキャンツールに係る現状・課題の整理等を実施。

2. 主な論点

(1) 汎用スキャンツールに求められる仕様は何か。基本的なコンセプトは何か。

① 対象事業者

- ◇ どういった事業者がどのような機能を有するスキャンツールを求めているのか？アンケート調査等を通じて実態把握が必要ではないか？

② 機能

- ◇ ユーザーレベルに応じ、機能が選択できるように、基本機能と拡張機能の構成とするか？
- ◇ 基本機能に求められる機能は何か？
- ◇ 拡張機能に求められる機能は何か？

③ 普及目標台数

- ◇ 現在の普及状況を整理した上で、○年以内に○台程度といった普及ボリュームのイメージを検討すべきでないか？

④ 価格

- ◇ アンケート調査等を通じた実態把握を踏まえ、どのように検討するか？定量的なものか、定性的なものとするか？

(2) 汎用スキャンツールの活用に当たり、人材教育はどうあるべきか。

- ◇ どういった研修方法が望ましいか？法令で義務づけられている研修の中でどのように整理するか？任意の研修は必要か？どういった方を対象とするか？
- ◇ 研修の実施体制を構築するに当たって、どういったやり方が望ましいか？クリアすべき問題点としてどのようなものがあるか？

(3) 大型車(ディーゼル商用車)のスキャンツール活用に向けた課題は何か？

- ◇ 現状はどうなっているか？
- ◇ 克服すべき課題は何か？

(4) 汎用スキャンツールを普及促進させるために何が必要か。

- ◇ 普及促進策としてどういった手段が考えられるか？
- ◇ インセンティブには何かがあるか？(導入していない事業場との差別化、認定制度など。)
- ◇ 将来的に法制度に組み込むことは考えられるか？